

2025年7月6日に“第19回北河内糖尿病療養指導セミナー”が枚方ビオルネで開催されました。昨年もこの時期に同セミナーがあり、管理栄養士さんが発表デビューを飾ってくれましたね（[糖尿病センターだより 6号参照](#)）。今年は薬剤師さんが発表デビュー、そうです、彼も人生初の発表です。人生で初めて作るスライドが、上手にできるはずありません。主任部長と二人三脚で直ちに直します。やっとスライドが出来たと思ったら、発表のセリフもダメ出しの連続…。発表のセリフも何度も直します。そして、いざ本番。

なんと当日は彼が一番バッターで登場です。会場に少し早めについた主任部長、さらに早く到着し一番前の演者席に座っている彼の背中を発見しました。そっと近寄ってご挨拶…しようとしたのですが、緊張で私が視界に入らない薬剤師さんです。左手で握りしめたセリフの原稿にしわが寄っているのが見えました。「頑張っ。ここからは一人で行くしかないんや。」と、背中に話しかけて主任部長は着席し、セミナーの始まりを待ちました。

薬剤師さん、当院が取り組む「糖尿病チーム医療」について外来、入院、そして彼がメインで取り組む外来化学療法（3つの部門に分けて、丁寧に分かり易く説明することが出来ました。セリフも落ち着いてゆっくりと話すことができ、一度も詰まることはありませんでした。また、外来化学療法（癌を持つ患者さんが、外来で抗がん剤の点滴治療を受けること）の副作用で、高血糖になってしまう糖尿病患者さんの対応についての説明は、非常に示唆に富むものであり、座長の先生からも質問を頂きました。

セミナー終了後に、運営スタッフさんから「薬剤師さん、人生初の発表ですか？信じられない!! すごく落ち着いていて余裕のある発表でしたよ。」とお褒めの言葉を頂きました。もしそう見えたのだとしたら、それは彼が何度も自主練習を積んできた証です。大きな舞台をやり切った彼は、満面の笑顔でした。「他の先生方の発表もすごく勉強になりました。」彼にとって良い経験となったと思います。発表するって本当に大変ですが、得られるものはとてつもなく大きいものです。



薬剤師さん、お疲れ様でした！